


第11次加古川市交通安全計画の概要（案）

（計画期間：令和3年度～7年度）

現状・基本理念・考え方	目標・対策を考える視点	講じようとする主な施策
<p>現状</p> <p>1 道路交通事故</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年中の交通事故死者数は5人となり、第10次計画目標（ゼロにする）を達成できなかった。 交通事故負傷者数は1,088人と第10次計画目標（1,700人以下）を達成した。 踏切道における交通事故は0件となり、第10次計画目標（ゼロにする）を達成した。 <p>2 鉄道交通事故</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年中の運転事故件数は0件となった。 <p>基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心な加古川市の実現に向けて、国、県、市、関係団体や市民一人ひとりが全力をあげて、交通事故のない社会を目指して各般の取組を進める。 ○道路交通においては、自動車に対して弱い立場にある歩行者等の安全を、また、全ての交通において、高齢者、子ども、障がい者等の交通弱者の安全を一層確保する。 ○高齢になっても安全に移動することができ、安心して移動を楽しむ豊かな人生を送ることができる社会、さらに、年齢や障がいの有無に関わりなく安全に安心して暮らせる「共生社会」を構築することを目指す。 <p style="text-align: center;"></p> <p>基本的な考え方</p> <p>道路交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者、子ども、障がい者等の交通弱者の安全確保 ○歩行者の安全確保 ○自転車の安全確保 ○地域の実情を踏まえた施策の推進 ○役割分担と連携強化 ○交通事故被害者等の参画と協働 ○新型コロナウイルス感染症の影響の注視 <p>鉄道交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民が安心して利用できる、一層安全で安定した鉄道輸送を目指し、重大な列車事故対策等、各種の安全対策を総合的に推進する。 	<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 令和7年までに交通事故死者数をゼロにする。 令和7年までに交通事故重傷者数を26人以下にする。 踏切事故件数を令和3年から令和7年までの5年間ゼロにする。 <p>対策を考える視点</p> <ol style="list-style-type: none"> 高齢者、子ども、障がい者等の交通弱者の安全確保 歩行者の安全確保 自転車の安全確保 生活道路における安全確保 踏切道における安全確保 先端技術の活用促進 データ分析に基づくきめ細かな対策の推進 地域が一体となった交通安全対策の推進 	<p>1 道路交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活道路等における速度規制、歩道整備、バリアフリー化等 自転車レーン等の整備等による自転車利用環境の総合的整備 災害に備えた道路交通環境の整備 <p>2 踏切道の交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 「踏切すっきり安心プラン」等に基づく総合的な対策 <p>3 交通安全思想の普及徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 段階的かつ体系的な交通安全教育（高齢者・子どもに対する交通安全教育など） シートベルト、チャイルドシートの正しい使用の徹底 自転車の安全利用の推進 <p>4 安全運転の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢運転者対策（認知機能検査、高齢運転者標識の活用など） 事業用自動車の安全プラン等に基づく安全対策 <p>5 車両の安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進安全自動車の開発及び普及の促進 <p>6 道路交通秩序の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車利用者に対する指導取締り 暴走行為阻止のための環境整備 <p>7 救助・救急活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 多数傷病者発生時における救助・救急体制の充実 救急救命士の養成・配置等の促進 <p>8 被害者支援の充実と推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 自転車損害賠償責任保険等の加入徹底
	<p>目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 乗客の死者数ゼロを目指す。 鉄道運転事故件数ゼロを目指す。 <p>対策を考える視点</p> <ol style="list-style-type: none"> 安全運行の徹底による重大な列車事故の防止 利用者等の関係する事故の防止 	<p>1 鉄道交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震等に備えた鉄道施設等の安全性の向上 <p>2 鉄道交通の安全に関する知識の普及</p> <p>3 鉄道の安全な運行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄道事業者に対する保安監査の実施 安全上のトラブル情報の共有・活用 運輸安全マネジメント評価の実施 <p>4 鉄道車両の安全性の確保</p> <p>5 救助・救急活動の充実</p> <p>6 被害者支援の推進</p>